

～ご挨拶～

会員の皆様におかれましては平素より当法人の運営にご尽力を承りまして誠にありがとうございます。2月は災害とも言える異常な大雪に東日本全体が見舞われ、ここ二本松でも大変な混乱が生じました。東日本大震災から3年が経過し、再度防災意識を見直す必要性を感じました。食料や緊急用品の備蓄などしっかりと準備したいと思います。今回はハウス被害も甚大になり、今春以降の農業に大きな影響を及ぼさそうです。当法人においてはそのあたりの生産者サポートも検討していきたいと思っております。皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

事務局長 廣田拓也

● 1月の主な活動報告

16日 阿武隈山麓グリーンファーム臨時総会

26日 アースデイマーケット@代々木公園けやき並木

30日 ふくしまマルシェ第2回実行委員会



1月26日の出店でアースデイマーケットに出店を開始してからちょうど1年になりました。買い物後に福島産と知り返品されるようなこともほとんどなくなり、むしろしっかりと話を聞いた上でお買い上げ下さるお客様も増え、非常に居心地の良いマーケットの一つとなりました。消費者の方と直接繋がる事が出来る機会というのは意外に少ないものです。こういう場を大切にしていきたいと思っております。

二本松農業生産団体 阿武隈山麓グリーンファーム臨時総会開催。



1月16日に二本松市東和文化センターにて阿武隈山麓グリーンファームの臨時総会を開催しました。作付面積・販売数量の減少に伴い、組織形態を変更し、機動的に動けるように会則を変更し、満場一致で議決致しました。今後は今抱えている在庫の消化のほか、生産物の生産調整・選定が必要になってきます。先行きが不透明な中ではありますが、前向きな意見も出ましたので、会としては可能な限り生産と分析を繰り返し、消費者の皆様の信頼を得られる農産に取り組んでいきたいと思っております。春先には再度作付け検討会を開催し、今年度の作付け作物を選定致します。皆で前向きに取り組んでいきます。

～農業情報～

①大雪災害によるハウス損害甚大に。

県は19日、今月の大雪による農林水産業の被害状況を発表しました。同日午後1時現在、パイプハウスなど1585棟の損壊が確認され、被害額は34市町村で1億4702万5000円に上る。雪が残るため、県北地方を中心に調査に着手できない場所もあり、被害額はさらに増える見通し。

②コメ余り対策、飼料用米への転作は成功するか。

米の需給調整策の一つとして、ここ最近飼料用米への転作がどこでも話題に上がようになってきました。例えば豚が食べる飼料の主な原料はトウモロコシですが、米は比較的トウモロコシに近い栄養価らしいです。なので国産米を食べさせたブランド豚を畜産の柱としていこうという動きが東北は山形で始まり、活発化の兆しがあるとか。ただあくまでも飼料用米は補助金で成り立つ制度であることは変わらず、長期的な視野で考えると課題が残るとは思います。欧米化傾向が鮮明な今の日本の食事情。生産と消費のバランスを日本人全員が考える必要があります。

【3月活動予定】

8日・9日 ピースオンアース 東日本大震災市民の集い@日比谷公園

27日 ふくしまファーマーズマルシェ実行委員会

30日 アースデイマーケット@代々木公園けやき並木

【発行元】NPO法人リーフ

上記予定は変更になる場合がございます。詳しくはリーフ 福島県二本松市安達ヶ原5-254-10
事務局宛にお問い合わせ下さい。 0243-24-1399